

SEOY日本プログラム開催概要

- 主催 ISL 社会イノベーションセンター シュワブ財団
- 後援 総務省、外務省、経済産業省
- ISL 社会イノベーションセンター協賛

三井物産株式会社 RECRUIT
SUNTORY HITACHI

審査委員

- 審査委員長
北城 悟太郎氏 日本アイ・ピー・エム最高顧問/
ISL会長・理事
- 審査委員
阿木 耀子氏 作詞家/作家/プロデューサー
緒方 貞子氏 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 理事長
笹森 清氏 労働者福祉中央協議会会長/
日本労働組合総連合会 (連合) 前会長
田坂 広志氏 多摩大学大学院教授/
社会起業家フォーラム代表
藤原 和博氏 杉並区立和南中学校前校長/
大阪府知事特別顧問
ヴィヴィアン・ジー氏 シュワブ財団アジア担当

「SEOY日本プログラム」第1回受賞者決まる



日本代表の傍迫氏、審査委員特別賞受賞者の石川氏とファイナリスト受賞者3人

「SEOY日本プログラム」第1回受賞者決まる。審査委員長特別賞受賞者の石川氏とファイナリスト受賞者3人は、2009年度のSEOY日本プログラムで表彰された。受賞者は、社会イノベーションセンターとシュワブ財団の協賛で開催された。

審査委員長特別賞を受賞した石川氏は、特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎの代表理事として、社会課題の解決に取り組んでいる。受賞コメントでは、革新的なモデルを創出した民間団体の運営と活動に、33年にわたって尽力した取り組みに敬意を表し、審査委員特別賞を受賞した。

ファイナリスト受賞者3人は、それぞれ異なる分野で社会課題の解決に取り組んでいる。受賞コメントでは、社会課題の解決に向けた取り組みに敬意を表し、ファイナリスト受賞者としての生き方を提示した情熱と挑戦が高く評価された。

新しい資本主義のかたちへ 動き出す日本発の社会イノベーション

昨年の金融危機が世界から再び注目を集めている。日本発の社会イノベーションが、この世界で注目を集めている。社会イノベーションとは、社会課題の解決に向けた取り組みを指す。社会イノベーションは、社会課題の解決に向けた取り組みを指す。社会イノベーションは、社会課題の解決に向けた取り組みを指す。

社会イノベーションは、社会課題の解決に向けた取り組みを指す。社会イノベーションは、社会課題の解決に向けた取り組みを指す。社会イノベーションは、社会課題の解決に向けた取り組みを指す。社会イノベーションは、社会課題の解決に向けた取り組みを指す。



緒方 貞子氏

社会起業家の活躍に期待

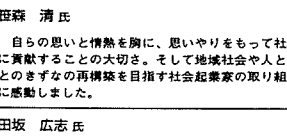
今、社会起業家の活躍に期待が高まっています。社会起業家は、社会課題の解決に向けた取り組みを行う。社会起業家は、社会課題の解決に向けた取り組みを行う。社会起業家は、社会課題の解決に向けた取り組みを行う。



阿木 耀子氏

持続可能な社会の実現を

持続可能な社会の実現を。持続可能な社会の実現を。持続可能な社会の実現を。持続可能な社会の実現を。持続可能な社会の実現を。持続可能な社会の実現を。



笹森 清氏

自らの思いと情熱を胸に、思いやりをもって社会に貢献することの大切さ。そして地域社会や人と人とのきずなを再構築を目指す社会起業家の取り組みに感動しました。

田坂 広志氏
社会起業家とは、良い社会を実現するために働く人々のこと。その生き方が広がる時、この国の本当の変革が始まる。そのことを確信しました。

藤原 和博氏
私は市民出資による風力発電ビジネスの「はまかせ」チャンスが面白いと思った。宮崎の「風の谷のナウシカ」をほうふつとさせるからだ。

ヴィヴィアン・ジー氏
日本の文化の底流にある「社会的責任を果たそうとする強い意識」に感動をうけました。この日本独自の素晴らしい環境は多くの社会起業家をはぐくみ、成長させることではないかと。

2009年度日本代表受賞者

マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション (MFIC)
社長兼CEO 傍迫 篤昌氏
(とよまき あつむ) 27年間の銀行勤務を経て、途上国から米国への移住を経て、社会起業家としての道を歩む。金融サービス事業を立ち上げた生き方を志す。

●評価のポイント
貧困層を対象としたMFICの送金サービス事業の革新性とスケールの大きさ、さらには傍迫氏が途上国で実際に体験したことを基に、高い志と使命感をもって公正な金融サービス事業を立ち上げた生き方を志す。

●受賞コメント
目に見える金融サービスを世界中の人々に届けることで、懸命に努力する人が必ず報われる。そんな当たり前な社会を実現したいと思います。

審査委員特別賞受賞者

特定非営利活動法人ケア・センターやわらぎ
代表理事 石川 治江氏
(いしかわ はるえ) 障害者との出会いを機に、日本初の24時間365日の在宅福祉サービスを提供、後政府による介護保険の導入となった。

●評価のポイント
革新的なモデルを創出した民間団体の運営と活動に、33年にわたって尽力した取り組みに敬意を表し、審査委員特別賞を受賞。

●受賞コメント
介護は現在、どの国でも多くの課題を抱えています。内外からさまざまな「知」を集め、「介護の標準化」ができればいいと考えています。

ファイナリスト受賞者紹介 (五十音順)

特定非営利活動法人フロレンス
代表理事 駒崎 弘樹氏
(こまざき ひろき) 一般の育児施設では受け入れられない発達障害の子どもを預かる「育児保育」を提供、育児保育問題を解決し、育児と社会の両立が当然な日本社会の実現を目指す。

●評価のポイント
社会で顕在化していないニーズに対応する社会的意義と、ビジネスセンスを併せ持った事業運営。そして若い世代に社会起業家としての生き方を提示した情熱と挑戦が高く評価された。

●受賞コメント
政治が変わった今、次に変わるべきは我々国民。これまでの行政依存ではなく、志のある事業によって、社会的課題を解決していきましょう。

特定非営利活動法人北海道グリーンファンド
理事長・事務局長 鈴木 亨氏
(すずき とおる) 日本初の市民出資による風力発電事業を行うほか、電気料金の5%を地球環境保全活動に寄付する「グリーン電気料金制度」を運営。

●評価のポイント
地球温暖化等の深刻なエネルギー問題に対して、金融スキームを駆使した革新的な解決への取り組みと、次世代に夢を与えるその事業内容が関心を集めた。

●受賞コメント
地球温暖化防止のために取り組むのではなく、環境と地域経済の発展という2つの「利益」を兼得し分かち合えるような事業を築いていきたいです。

セカンドハーベスト・ジャパン
チャールズ・マクジルトン氏
企業から品物が問題がない廃棄物の再資源化、生活困窮者や地域課題、福祉施設、学生支援、NPO/NGO/ボランティアの支援者などへ食品を提供するフードバンク活動を展開。

●評価のポイント
自ら河川敷で野営生活をした実体験に基づき、貧困と「食」という問題を一時的ではなく、持続可能な事業として全国展開する取り組みが多く共感を得た。

●受賞コメント
営利・非営利の差異にとらわれず互いの共通理念に着目することで、皆が助け合う社会を創出したいと思っています。

SEOY日本プログラムについて

社会起業家の表彰を世界25カ国で実施しているイス・シュワブ財団と、社会イノベーションをけん引するリーダー人材を発掘・育成・支援するISL社会イノベーションセンター(三井物産、リクルートを中核にサンリーホールディングス、日立製作所の計4社が協賛)が共同で実施するプログラム。持続可能な方法で社会改革を実行するリーダーの活動に光を当て、社会イノベーションの促進を奨励せんとするもの。プログラムの代表受賞者には、ISLから活動資金が供与されるほか、事業ニーズや成長課題に応じた人的支援が提供される。さらにはシュワブ財団から世界経済フォーラム(ダボス会議)に招待されることで、世界で活躍する社会起業家やビジネス・政治リーダーのネットワークへの参加が可能になる。

社会課題解決の新しい潮流をつくり出す挑戦

社会課題解決の新しい潮流をつくり出す挑戦。社会課題解決の新しい潮流をつくり出す挑戦。社会課題解決の新しい潮流をつくり出す挑戦。社会課題解決の新しい潮流をつくり出す挑戦。社会課題解決の新しい潮流をつくり出す挑戦。社会課題解決の新しい潮流をつくり出す挑戦。

グローバル経済下で重要性さらに高まる。グローバル経済下で重要性さらに高まる。グローバル経済下で重要性さらに高まる。グローバル経済下で重要性さらに高まる。グローバル経済下で重要性さらに高まる。グローバル経済下で重要性さらに高まる。

第2回プログラム開催要項

第2回SEOY日本プログラムは、2010年春からファイナリスト受賞者候補者の公募を開始します。詳細は以下のホームページをご覧ください。
URL: <http://www.isl.gr.jp>

特定非営利活動法人アイ・エス・エル (ISL)

社会イノベーションの推進を目的として、社会課題の解決に向けた取り組みを行う。